

## 一部車両において EB 装置のブザー鳴動開始までの時間が延びる事象について

2014年10月 6日  
東日本旅客鉄道株式会社

当社の運転台付き車両の一部において、EB (Emergency Brake) 装置のブザーの鳴動開始時間が延びる事象が発生することが判明しました。

EB 装置とは、走行中に運転士が力行ノッチ、ブレーキ、気笛、EB リセットスイッチのいずれかを 60 秒間扱わないと、ブザーが鳴り、さらに 5 秒間これらいずれの操作もしなければ、運転士が疾病等異常状態にあると判断し、自動的に非常ブレーキをかける装置です。

当社の社内規程ではブザー鳴動までの時間を 60 秒とするよう定めていますが、今回、ある特定の条件下で 60 秒以上となる事象が判明しました。すなわち、運転士が疾病等の場合にブレーキがかかるまでの時間が、ある特定の条件下で規定値より長くなることがあります。

なお、この事象は保安装置である ATC や ATS-P に影響を与えるものではなく、列車衝突の危険はありません。

### 1. 発生する事象

運転士が同じノッチのまま継続して力行中に、ATC や ATS-P によるブレーキが自動的に動作した場合などに、運転士の操作と認識しタイマーがリセットされ、EB 装置のブザーが鳴動するまでの時間が、その時点から 60 秒になる事象が発生します。

### 2. 対象両数

1,548 両 (いずれも運転台付き車両で、TIMS (列車情報管理装置) を搭載した車両)  
なお、当社の運転台付き車両の総数は 4,353 両です。(10月1日現在)

### 3. 原因

TIMS (列車情報管理装置) 内の EB 装置を制御するソフトウェアが、ATC や ATS-P によるブレーキが自動的に動作した場合などに、運転士が操作した場合と同様の認識をする内容となっているため。

### 4. 対策

運転士が同じノッチのまま継続して力行中に、ATC や ATS-P によるブレーキが自動的に動作した場合などでも、EB 装置のブザーが鳴動するまでの時間を 60 秒とするよう、TIMS (列車情報管理装置) のソフト変更を実施します。